

第6学年図画工作科年間学習計画

目標

- (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくり出す喜びを味わうようにします。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構成するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにします。
- (3) 親しみのある作品などから、良さや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにします。

年間学習計画

学期	題 材	学 習 内 容
前期	織る，編む，組む	・いろいろな材料を使い，織ったり編んだり，組んだりして，生活に使える物を用途に合わせ工夫してつくる。
	想像のつばさを広げて	・夢見た楽しいことや，想像した不思議な世界を絵に表す。
	水の流れのように	・水の流れを想像して，粘土の形を考え，ガラスの感じを生かした焼き物を作る。
	絵手紙	・感じたことや思ったことを絵手紙にして表す。
	くるくるクランク	・クランクの仕組みを理解し，動きを生かした作品づくりを行う。
後期	墨で表す	・墨の効果を生かして表したいことを見つけ，いろいろな用具や方法を使って，表し方を工夫する。
	じっと見つめてみると	・その時感じた気持ちや思いが伝わるように，絵に表そう。
	光のハーモニー	・光を使った演出の美しさとその効果，点灯時の色の変化などに興味をもち，作品づくりを行う。
	板から何が	・オルゴールを入れる木彫りの入れ物のデザインを考え，心を込めて彫刻刀で彫り，木彫塗料で仕上げる。

評価について

- 自分の思いを持って表現したり、鑑賞したりしながら、作り出す喜びを味わおうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思いついたり、形や色、用途や構成などを考えたりしている。(発想や構成の能力)

- 感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことにあわせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫している。(創造的な技能)
- 親しみのある作品などの形や色から、表現の意図や特徴をとらえたり、良さや美しさを感じ取ったりしている。(鑑賞の能力)
- ※ 授業中の行動観察・発表やプリント・作品によって評価し指導に生かします。